

制作に込めた想いやコンセプト（抜粋）

- 会場がお寺なので、和をイメージ、ずっしりとしたリズムを取り入れて選手の高揚感を高められるように意識した
- パラパワーは力・熱が大事なものだと思ったので、これを感じられる曲にした。
- 仏教の世界観に基づいて作った。メタリック、サイケデリックトランス、さとり、空間や意識との調和を意識した。筋肉を引き締めるサウナのような曲◎
- 選手が入場するところを意識して作った。湧き上がる闘志、お寺
- 選手が入場してくる様子、選手の力強さ、身体のごつさ、大きさをイメージしてメロディーを入れずにドラムを多めに、盛り上がり効果をいれた
- 選手の熱を保ったままもりあがれるようにした。
- 筋肉・熱いがキーワード。試合までの過程を大事に、壮大さを出すように意識した。
- 選手の力強さを出すよう気を付けた、選手の強さを表せたらいいなと思って作った。
- 力強さを入れるためにストリングス系を取り入れた
- 戦士の歩みがイメージ
- 勝負前の感情がごちゃになった様子を想像、不安、緊張を重々しい効果音で表現、前向きで闘志を燃やしている様子を軽快なメロディーで表現。
- 選手がプレーすること＝心臓音、人の息（ブレス）、極限の世界での勝負をイメージし異次元の感じを入れた
- テーマ「力強い」。徐々に盛り上がれるように、選手の未来のことを考えてつくった。
- パワーリフティングの力強さを出すため、音をたくさん重ねてだんだん盛り上がる感じにした
- 選手のモチベーションをあげるために重圧感を出すようにした
- 闘いや熱量を意識、入場曲っぽくすることを意識した
- 和をイメージしながら、多国籍な楽器を取り入れた
- 序章を、筋肉・盛り上がる、をイメージ
- 力強さ、カッコよさを表現したい、視点は選手。気持ちの高まり、バーベルを持ち上げる瞬間の叫びなども表現することを意識
- 筋肉、盛り上がる→カッコいいという単語につながったのでカッコいい曲を目指した。競技というイメージは「挑戦」だったので、カッコいいと挑戦がテーマ
- とにかく力強く、筋肉、パワーがキーワード、入場の時に流れたらパンプアップ間違いなし！勇ましい曲
- パワーが与えられるような曲にした
- 悪役が登場しそうな感じで作った
- 競技中の選手から力を感じるものを作った。アジアと日本を感じる曲にした
- お寺が会場なので和風テイストを入れた。琴・笛、テーマソング、休憩上がりでこれから試合に入るぞ、という力強い後押しができるよう想定して作った
- 選手の気持ちを鼓舞する楽曲
- 自分との戦いをイメージした曲、闘志のイメージを作った
- 選手の力が沸いてくるようにイメージした（中島愛）__形勢逆転・・・ドラマチックな始まり、元気、単調
- 迫力がある音、暗くならないように意識した。幅広く使えるように意識した
- スポーツをイメージ。シンセサイザーを多用した
- パワーリフティングというお題に対して、己の限界、選手の限界を超える、というテーマを設定し、タイトルも unlimit とした